

令和元年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営内部評価

《 財団目標 》

郷土愛を育み、教育、学術及び文化を振興し、広域交流を促進する。

《 評価の考え方 》

- ・ 当財団の目標、運営方針及び事業活動方針にもとづいて行われる財団の業務や活動の全般を評価対象とする。
- ・ 業務や活動は、本年度事業計画に記載された具体的取り組み等について、個々の事業の達成度合いをそれぞれの担当が評価する。
- ・ 可能なものは数値目標を掲げ、それ以外の目標も評価しやすい具体的な表現を心がける。
- ・ 達成度は右の4段階で評価し、平均値で表示する。
- ・ 評価結果から成果と課題を抽出して共有し、具体的な改善策を講じて財団運営及び組織活動の改善を図る。

達成度	
4	高い成果が得られている(95%以上)
3	一定の成果が得られている(80%以上)
2	まだ課題がある(80%未満)
1	成果が得られていない(50%未満)

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)		達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)	
(1) 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業	① 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める	歴史関連	米沢藩・上杉家ゆかりの資料の発掘と追跡に努める	2.3	2.6	学芸	○ 古書店の目録や市民からの情報に対応 ○ 順次、受入資料の目録を作成できた ○ 収蔵資料の整理を継続した。 ○ 福王寺展を機に周辺資料・情報が充実した。	■ 継続している館蔵資料の整理・調査の深度を充実させる。 ■ 情報とは？整理とは？館としての情報収集や □ アーカイブの方法・基準を整備する必要性
			上杉邦憲氏寄託資料の概要調査を85%まで進める	2.3				
			受入資料の概要調査と目録作成を進める	3.1				
		美術関連	米沢・置賜ゆかりの作家及び作品の調査、情報収集を進める	2.4	2.3			
			上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理に努める	2.0				
			米沢出身近現代作家の一次資料、二次資料の収集を進める	2.6				
		今年度開催展覧会の展示資料や作品の調査及び準備を計画的に行う	2.4	2.5				
		次年度以降開催予定展覧会の調査及び準備を計画的に進める	2.4					
		米沢市上杉博物館資料収集基本方針に基づき資料の収集・充実に努める	2.9					
		市民や関係機関とのネットワークを広げながら調査研究を進める	2.3					
	郷土ゆかりの図書・雑誌・古典籍・古文書等の調査・収集に努める	4.0	4.0	郷土資料	○ 昨年度に引き続き、古書の購入を進め、郷土資料刊本の充足に努めている。			
	愛宕地区の神社や堂宮の資料・民俗等を調査し、年度内に報告書を刊行する	4.0						
	② 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす	企画展示	特別展「上杉家 葵の姫のものがたり～徳川家三姉妹の守刀～」 職員評価平均値	3.2	3.1	学芸	○ 入館者数15,846名/見込13,700名(115.66%) ○ 入館者数4,792名/見込6,800名(70.4%) ○ 入館者数5,265名/見込5,600名(94%) ○ 入館者数14,320名/見込16,100名(88.9%) ○ 入館者数7,719名/見込5,300名(145.6%)	■ 作品の魅力・価値の積極的な抽出と紹介 ■ 資料の意義の明確化 ■ 気候変動により入館者見込みを立てづらくなっている。
			入館見込数を上回る	4.0				
			企画展「生誕100年 日本画家 福王寺法林」職員評価平均値	2.8				
			入館見込数を上回る	2.0				
			企画展「木のおもしろワールド 杉山明博 造形の世界」職員評価平均値	2.8				
			入館見込数を上回る	3.0				
			特別展「上杉家 武家の文化 公家の文化」職員評価平均値	3.1				
			入館見込数を上回る	3.0				
コレクション展「米沢藩 武士の仕事」職仕事員評価平均値			3.4					
入館見込数を上回る			4.0					
職員と来館者の評価を適時に行い成果や課題を明らかにする	2.7	3.1	事務局長 学芸	○ 来館者の意識の傾向はほぼ確定的である	■ リニューアルの規模・内容など具体的な面を視野に入れた構想			
文華館では「米沢初入部250周年記念 上杉家文書に見る上杉上杉鷹山」を6本の小テーマで紹介する	4.0							
リニューアルに向けて問題点や課題の整理を進める	2.2							
資料や設備・機器の修繕・更新を計画的に進める		4.0	総務					

事業名	活動方針	具体的取り組み（評価基準）	達成度	担当	成果（○）	課題（■）及び改善策（□）	
③ 市民に必要な有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる	先人顕彰コーナー	「上杉茂憲展」 職員評価平均値	3.6	3.3	郷土資料 図書		
		「有為会130年の歩み」 職員評価平均値	3.5				
		「よねざわ漢詩の世界」 職員評価平均値	3.1				
		「平田東助展」 職員評価平均値	3.6				
		「我妻碧宇展」 職員評価平均値	2.9				
		「写真で見る米沢のむかし展 パート2」 職員評価平均値	3.4				
		「図書館の絵図展」 職員評価平均値	3.3				
		郷土資料コーナーでは所蔵する古典籍・古文書をもとに年6本の展示を行う	4.0				郷土資料
	④ 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る	市立米沢図書館資料収集方針に基づき図書・資料の収集・充実に努める 利用者の求めに応じ、他館との相互貸借を円滑に行う 新規登録者数は1,800人超をめざす 本館の年度貸出冊数は40万冊を上回る 自動車文庫の年度貸出冊数は3万5千冊をめざす 図書館団体貸出制度の利用促進に努める 各種のレファレンスや相談に丁寧に対応し、データベース化を進める	新規受入資料のデータベース登録95%をめざす	4.0	3.6	図書 郷土資料	○ 登録者数 1,880名 ○ 貸出冊数 410,168冊 ○ 貸出冊数 35,840冊
			受入資料の撮影および登録を500点進める。	4.0			
			未受入資料及び寄贈・寄託資料の調査・受入作業を計画的に進める	2.6			
			企画展等を契機に未撮影資料の撮影を計画的に進める	2.6			
			資料の燻蒸、収蔵庫のクリーニング及びIPM管理を適切に行う	3.0			
			所蔵する資料や芸術作品の修繕・修復を計画的に進める	2.7			
			収蔵庫や展示室の適正な空気環境の維持に不断に努める	2.8			
④ 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る	新規受入資料のデータベース登録95%をめざす 受入資料の撮影および登録を500点進める。 未受入資料及び寄贈・寄託資料の調査・受入作業を計画的に進める 企画展等を契機に未撮影資料の撮影を計画的に進める 資料の燻蒸、収蔵庫のクリーニング及びIPM管理を適切に行う 所蔵する資料や芸術作品の修繕・修復を計画的に進める 収蔵庫や展示室の適正な空気環境の維持に不断に努める 収蔵文化財総合データベースの登録件数を1万3千800件まで増やす デジタルライブラリー公開資料の翻刻掲載を計画的に進める	新規受入資料のデータベース登録95%をめざす	4.0	3.1	学芸	○ 95%登録完了（3月末現在） ○ 2,000点以上登録済（3月末現在） ○ 資料カード遊及入力、米沢藩士書状はじめ3資料群の目録作成を実施。 ○ 美術資料は博物館実習の中で撮影を進め、新規に登録を進めた。	
		受入資料の撮影および登録を500点進める。	4.0				
		未受入資料及び寄贈・寄託資料の調査・受入作業を計画的に進める	2.6				
④ 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る	新規受入資料のデータベース登録95%をめざす 受入資料の撮影および登録を500点進める。 未受入資料及び寄贈・寄託資料の調査・受入作業を計画的に進める 企画展等を契機に未撮影資料の撮影を計画的に進める 資料の燻蒸、収蔵庫のクリーニング及びIPM管理を適切に行う 所蔵する資料や芸術作品の修繕・修復を計画的に進める 収蔵庫や展示室の適正な空気環境の維持に不断に努める 収蔵文化財総合データベースの登録件数を1万3千800件まで増やす デジタルライブラリー公開資料の翻刻掲載を計画的に進める	企画展等を契機に未撮影資料の撮影を計画的に進める	2.6	3.4	学芸 郷土資料	○ 調査を継続している。 ○ 13,728点（3月末現在、約220点追加）	
		資料の燻蒸、収蔵庫のクリーニング及びIPM管理を適切に行う	3.0				
② 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業	① 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する	「米沢市子ども読書活動推進計画」を積極的に推進する	4.0	3.9	図書	○ 442組参加、884冊贈呈 ○ 参加者数290人 昨年311人	
		ブックスタート事業で、7ヵ月児健康教室時に読み聞かせを行い絵本2冊を贈呈する	4.0				
		おはなしのへやでの「おはなしかい」を月3回開催する	4.0				
		読書活動推進の一環として、市内小中学生読書感想画展を開催する	4.0				
		夏休み子ども図書館フェアを開催し、前年度と同等、もしくは上回る参加者をめざす	3.0				
		小学校巡回文庫は市内全小学校を対象に年3回の配本・回収を行う	4.0				
		「アタゴオル」による絵本読み聞かせを年2回以上開催する	4.0				
		小学校図書館と連携し、スタンブラリーを実施する	4.0				
	② 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する	PSは季節企画と造形体験を柱に展開し、前年度の入場者数を上回る WSは「つくる」をテーマに、毎回定員の80%以上の申込数をめざす 「ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ」を年2回開催する チルドレンキュレーターズ育成プログラムを年12回実施する ミュージアムスクールと出前授業を合わせて年15時間以上実施する 米沢市中学生チャレンジウィークを受け入れ、趣旨に沿って指導する 博物館実習とインターンシップ指導プログラムの充実を図る	PSは季節企画と造形体験を柱に展開し、前年度の入場者数を上回る	4.0	3.3	学芸	○ 利用者数9,864人（前年度比103.2%） ○ 45% ○ 参加者も多く、好評。 ○ 出前授業13回23時間 福王寺展関連多数。MS6件113人 ○ そのほか夏休み期間の課題として3校680名の個別入館があった。 ○ 5校から14名受入 ○ 実習10名、インターン受入なし
			WSは「つくる」をテーマに、毎回定員の80%以上の申込数をめざす	1.0			
			「ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ」を年2回開催する	4.0			
			チルドレンキュレーターズ育成プログラムを年12回実施する	4.0			
			ミュージアムスクールと出前授業を合わせて年15時間以上実施する	4.0			
			米沢市中学生チャレンジウィークを受け入れ、趣旨に沿って指導する	3.1			
			博物館実習とインターンシップ指導プログラムの充実を図る	3.0			

昨年 1,935人
昨年 404,060冊
昨年 36,838冊

■ 新しい学童保育施設などへ利用案内
■ 全てのレファレンス記録の検討

■ 整理人員の継続的な確保
■ まだまだ追いつかない。

■ 委託業者による更新が滞る。

□ 次年度は募集制ワークショップから常設のプレイショップ造形体験に比重をシフトして実施する。
■ 対象者の区分。

事業名	活動方針	具体的取り組み（評価基準）	達成度	担当	成果（○）	課題（■）及び改善策（□）			
③ 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する	教育事業	特別展等の理解深化を目的に年2回の講演会等を開催する	4.0	3.6	学芸	○ 春・秋の特別展で開催 ○ 12回開催（コロナウィルスで1回中止） ○ 11回開催（コロナウィルスで1回中止） ○ web公開中のデジタルマップに新機能を追加した。 ○ 61件に回答しデータベース化			
		企画展等の会期中に年10回以上のGTを開催する	4.0						
		文華館では小テーマごとに計12回のCTを開催する	4.0						
		上杉家・米沢藩の歴史理解に資するコンテンツを新規に制作する	3.0						
		レファレンスは内規に従って処理し、データベース化を進める	2.9						
		ふるさと歴史講座を年3回開催する	4.0						
		古文書解読講座を年2回開催する	4.0						
		古典文学講座を年3回開催する	4.0						
	普及事業	上杉博物館年報（30年度版）と伝国の杜だより（年2回）を発行する	4.0	3.3	学芸	○ 10月に3回実施 ○ 2月に2回実施 ○ 11月に3回実施	■ 市との作業スケジュールの調整と、作品の活用と展示環境が継続課題。		
		教育普及「musedue だより」を年4回発行する。	4.0						
		博物館所蔵美術作品を年2回、市内の学校・公共施設に貸し出す	2.0						
		ホームページやブログ、フェイスブックでの広報頻度を上げる	3.1						
		伝国の杜ポケットスケジュールを制作し広報に努める	4.0						
		内覧会の広報に努め、1回あたり平均20名超の参加をめざす	4.0	3.4	総務			○ 5回開催123名参加	
		中学生・高校生の「無料観覧証」の利用促進に努める	2.3						
		来館者の読書意欲を高める特集コーナーを更新してゆく	3.8						
		ナセBAホームページ、ツイッターの充実・更新に努める	3.0	3.5	図書 郷土資料			○ 4/1,7/1,10/1,1/1発行 ○ 参加者491名（昨年311名）	■ ツイッターの積極的な活用
		「図書館だより」を年4回発行する	4.0						
	読書週間図書館フェア関連事業の参加者は前年度と同等、もしくは上回る参加者をめざす	4.0							
	英語多読コーナーを設け、英語多読サロンを月1回、相談会を月1回開催する	4.0							
	読書活動の推進のため、読書会を隔月1回開催する	4.0							
	障がい者の学習支援体制の整備を進める	2.0	3.3	舞台	○ 前年比98.4%				
	施設貸与事業（博会議室）	貸出基準にもとづき適正に貸与する					3.5		
	金銭処理や利用実績の管理及び各種報告を適時適切に行う	3.5							
	（駐車場）	利用者のニーズを把握し、前年度実績を上回る利用をめざす	3.0	3.6	総務				
		金銭処理や利用実績の管理及び各種報告を適時適切に行う	3.8						
④ 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める	サポーター運営（伝国）	「活動要綱」に基づいて活動し登録数及び活動人数を増やす	4.0	3.3	サポーター 担当	○ 登録者数 28名（前年比116%） ○ 3月までに4回発行済 ○ バリアフリー対応を学ぶ研修を実施	■ 舞台広報物の発送日時が固まらない。		
		年間活動計画を策定し、サポーターの活動機会を広げる	3.3						
		洛洛案内人を継続して養成する。	2.5						
		「伝国の杜サポーター通信」を定期的に年4回発行する	4.0						
		よりよい活動に資するため研修を実施する	3.2						
	（図書館）	爾後の活動に資するためアンケートを実施する	2.8	2.7	図書 郷土資料	○ 3月にサポーター通信を発行	■ サポーター研修日の参加率の向上		
		年間活動計画を策定し、サポーターの活動機会を広げる	2.6						
		よりよい活動に資するため研修を実施する	3.0						
	（ギャラリー）	図書館サポーター活動への理解促進に向けた広報を充実する	2.4	3.0	総務企画				
		展示の企画や運営に市民の声を反映し内容の充実に努める	2.0						
	ファンクラブ事業	特典の周知や広報活動を強化し350人の会員登録をめざす	3.0	3.1	FC担当	○ 登録者数308人 ○ 裏磐梯へのバスツアーを開催 ○ 16.90%	■ ニーズ調査		
		ファンクラブ会報（年2回）及び各事業情報を適時に送付する	3.0						
		ファンクラブ会員限定事業は貸切バスで県外研修に取り組む	4.0						
博物館及びホール事業未利用会員を15%未満に減らす		3.0							
	さらに魅力あるクラブをめざしてPRを強化し、特典の見直しを進める	2.7							

事業名	活動方針	具体的取り組み（評価基準）	達成度	担当	成果（○）	課題（■）及び改善策（□）					
③ 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業	① 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める	県補助事業	カフェ・ライブ・夏 職員評価平均値	3.3	3.6	○ 来場者数82名/目標80名 (120.50%) ○ 来場者数86名/目標80名 (107.50%) ※新型コロナウイルスによる影響のため中止					
			入場見込数を上回る	4.0							
			カフェ・ライブ・冬 職員評価平均値	3.3							
			入場見込数を上回る	4.0							
			「楽器体験ワークショップ」 職員評価平均値	3.0							
			入場見込数を上回る	4.0							
		伝国の柱オーケストラ 職員評価平均値									
		入場見込数を上回る									
		市共催事業（文化ホール）	「山形交響楽団ユアタウンコンサート2019米沢公演」 職員評価平均値	3.0				3.0	舞台	○ 来場者数 390名/目標420名 (92.86%) ※台風のため中止 ○ 来場者数 193名/目標315名 (60.95%) ※出演者の都合により中止	
			入場見込数を上回る	3.0							
			「吹奏楽の日コンサート2019」 職員評価平均値								
			入場見込数を上回る								
			「ボニージャックス&ベイビー・ブー」 職員評価平均値	2.7							
			入場見込数を上回る	2.0							
			「聖夜のトランペット」 職員評価平均値								
	入場見込数を上回る										
	「山響とみんなで創る音楽会」 職員評価平均値		3.6								
	入場見込数を上回る		4.0								
	市共催事業（文化会館）	「カナディアンプラス」 職員評価平均値	2.8	4.0		○ 来場者数451名/目標395名 (114.17%) ○ 来場者数294名/目標368名 (79.89%) ○ 来場者数347名/目標420名 (82.62%)	■ 新型コロナウイルス対策でオンライン化の支援をした。				
		入場見込数を上回る	3.0								
	市共催事業（文化会館）	「みっべFES」 入場見込数を上回る	4.0	4.0		○ 来場者数504名/目標525名 (96%) ※新型コロナウイルスによる影響のため延期					
		「DRUM TAO」 入場見込数を上回る	4.0								
		事業計画書や広報計画書及びチラシ等を適時に作成し、広報活動を強化する	2.7	2.8							
		自主事業入場者のアンケートを分析して、次年度以降の採択事業に反映させる	3.0								
		ギャラリー	「アーツよねざわ・平成ふあいなる展」 職員評価平均値	3.2	3.2	総務企画 図書 郷土資料	○ 来場者数2,259名 ○ 来場者1,470名/見込1,500名 (98%) ○ 来場者数1,669名/見込2,000名 (83%)				
			入館見込数を上回る	2.0							
			「福王寺一彦・みどりこの世界展」 職員評価平均値	3.6							
			入館見込数を上回る	4.0							
			「ARTS MEET OKITAMA2020、2019大賞展」 職員評価平均値	3.1							
			入館見込数を上回る	3.0							
学芸 総務企画	芸術団体や上杉博物館と連携し、市民の芸術鑑賞の機会を広げる	3.2	3.6		○ 4回展示替実施						
	オープンギャラリーでは郷土出身作家作品を年間4回展示する	4.0									
② 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する	市民の多様な芸術文化活動の発表の場をつかいやすく提供する	3.0	3.5	図書館長 総務企画	○ 稼働率88.0% ○ 稼働率65.3%	前年 94.5% 前年 65.9%					
	市民の芸術文化活動の拠点として機能する	3.0									
	市民ギャラリーは公平・公正を旨として運営し、80%以上の稼働率をめざす	4.0									
	体験学習室は50%以上の稼働率をめざす	4.0									
③ 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する	地元のアマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供する	3.3	3.6	舞台	○ 親子135名招待						
	地域の小中高生50名の、当ホールコンサートへの招待を支援する	4.0									
	中心市街地の活性化支援としてウッディコンサートを年間7回開催する	4.0	3.5	総務企画	○ 7回開催						
	次世代を担う子どもや若手芸術家の育成を支援する	3.0									

事業名	活動方針	具体的取り組み（評価基準）	達成度	担当	成果（○）	課題（■）及び改善策（□）		
(4) 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業	④ 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する	県補助事業	こども能楽ワークショップ 職員評価平均値	3.0	舞台	○ 来場者数75名／見込100名（71.43%） ○ 来場者数 120名／見込210名（57.14%） ※新型コロナウイルスによる影響のため数回の稽古・春休み発表会の中止	□ 県能楽の祭典などの機をとらえて他団体との交流を考える。	
			入場見込数を上回る	2.0				
			山形県能楽の祭典 職員評価平均値	2.4				
			入場見込数を上回る	2.0				
			狂言クラブでは年12回以上の稽古、年4回以上の発表を行う	2.0				
	能狂言を通して広域の交流を促進し、演技の向上をめざす	2.3	2.1					
	① 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす	所蔵資料の解説、写真撮影及び目録作りを計画的に進める	資料の特別利用・貸出及び掲載許可等は規則にもとづいて厳格に行う	3.3	3.2	学芸局長		○ 春秋特別展、福王寺展で発行
			年間2冊以上の企画展図録を編集・発行する	4.0				
			サポーター-洛洛案内人による国宝屏風の説明を日常化する	2.8				
			年間10回程度、研修会や講演等の講師として成果を市民に還元する	3.0				
			大学や研究機関との協力や共同研究を進め、学芸員の力量を高める	3.0				
		古文書資料や郷土資料の整備を進め、市民や研究者の利用に供する	3.5	郷土資料				
		ミュージアムショップ事業	商品の陳列・宣伝など、展覧会と連動した運営を行う	3.1	3.1	総務学芸		○ 3種類の商品を新規製作 ○ 福王寺展、杉山展で受託商品の取扱、福岡の侍展で販売委託を行った。 ○ 前年度比約76%
			展示に関連する在庫図録の販売を積極的に行う	3.1				
			新規商品の開発に取り組み、三つ以上製品化する	4.0				
利用者の利便性と販路拡大のためWebショップを充実させる			2.5					
受託商品の充実を図り、他館への委託販売にも積極的に取り組む	2.9							
博物館制作図録と図書館刊行書籍を相互に販売する	4.0							
各種宣伝媒体を活用し、前年度比1割増の売上利益をめざす	2.0							
売上金の処理や販売委託契約、在庫管理を確実に実行	3.3							
② 市民の伝統文化活動を支援するために、歴史・芸術・文の情報発信に努める	芸術文化活動のための施設貸与事業（ギャラリー）	貸出基準に基づき、公益性を保って適正な運営に努める	4.0	3.5	総務企画図書館長	■ 広報の工夫が必要		
		米沢市芸術文化協会と連携し、利用者に喜ばれる運営を行う	3.5					
		施設情報の発信に努め、地域の芸術文化の振興に寄与する	3.0					
		施設の管理を適切に行い、施設・設備の適正な維持に努める	3.5					
		「座って行う日本文化」の活動施設として適正な運営に努める	4.0					
	(座文)	喜ばれる運営をめざし、利用件数・利用者数で前年度並みを維持する	4.0	4.0	総務	○ 件数215件（前年比約96%） ○ 利用者数3,955名（前年比約110%）		
		施設の管理を適切に行い、施設・設備の更新を計画的に進める	4.0					
	座の文化伝承館自主事業	第29回市民茶会への入場者200名以上をめざす	4.0	3.4	舞台	○ 入場者216人 ○ 入場者37人		
		蔵のコンサートの入場者50名以上をめざす	2.0					
		「米沢の絵葉書」展の入場者200名以上をめざす	4.0					
サポーターとの協働を積極的に進める	3.4	サポーター担当	○ 新規資料の収集につながった。 ○ 展示、茶会、コンサートで協働					
③ 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす	清掃や環境美化に努め、清潔で快適な空間づくりに努める	3.0	2.6	図書館郷土資料	■ 意見・要望に対する回答			
	利用者の意図を理解した上で説明と対応を丁寧に行う	2.8						
	各種アンケート調査を実施・分析し、来館者サービスに反映させる	2.2						
	市民の声を職員会議等で検討・共有し、運営の改善に努める	2.4						
	図書館蔵書の除籍と廃棄を適時に行う	2.8						
④ 上杉文化エリアの施設団体と協力し、価値ある文化及び観光の交流拠点をめざす	展覧会やホール自主事業で、上杉文化エリア懇話会会員との連携を促進する	3.0	3.8	総務				
	観光拠点の一つとして、米沢四季のまつりに積極的に参加する	4.0						
	施設内外の案内表示の修繕・更新及び環境の美化に努める	3.3						
	ホームページ、ブログ、フェイスブックの充実・更新に努める	3.5						
	有料・無料の広告媒体を積極的に活用して広報に努める	4.0						
	博物館無料入館の日の周知・広報に努め、前年度同日の入館者数を上回る	4.0						
⑤ まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する	市中心市街地活性化協議会等と連携してにぎわいづくりに貢献する	3.0	2.5	図書館長				
	「こまや」を活用し、地元商店や各種団体との共催事業を季節にあわせ行う	2.0						

事業名	活動方針	具体的取り組み（評価基準）	達成度	担当	成果（○）	課題（■）及び改善策（□）	
(5) 財団の適正な運営に関する事業	① 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める	法令や関係協定及び財団の定款・諸規程に基づき適正な管理を行う	3.0	3.0	事務局長	○ 175,726人	
		理事会や評議員会等の開催及び運営を円滑に行う	3.0				
		予算の執行及び財務管理を適正に行う	3.0				
		財団運営に必要な外部の研修会及び研究会等へ計画的に派遣する	3.0				
		伝国の杜の利用者総数は20万人を上回る	3.0				
		予算書、事業計画書及び決算書、事業報告書を期限内に作成する	4.0				
		博物館入館料は収入見込み額を確保する	3.0	3.1	総務	○ 受入85,180円、 クリアファイル（278,001円相当分）	
			ギャラリー、駐車場の使用料を適正に徴収し期限内に市に納付する				
		50万円を目標に寄附金受け入れ業務に積極的に取り組む	2.0	3.0	学芸	○ 入館者数109,477名 ○ 利用者数9,864人	
		博物館常設展・企画展の延べ入館者数は12万人超をめぐす	3.0				
		体験学習室利用者数は延べ1万2千人超をめぐす	3.0	2.5	舞台	○ 2,519人（台風やコロナによる事業中止の影響）	
		県補助事業及び市共催事業の会計事務処理を適正に行う	3.0				
		文化ホール自主事業入場者4千人超をめぐす	2.0	4.0	図書館長	○ 214,710人（3月コロナ影響有） ○ 82,066人（3月コロナ影響有） ○ 50,525人（3月コロナ影響有）	
		図書館閲覧室の延べ入場者数は20万人超をめぐす	4.0				
	図書館学習室の延べ利用者数は8万人超をめぐす	4.0					
	市民ギャラリーの延べ入場者数は4万人超をめぐす	4.0					
	② 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互適切な連携を進める	職員の勤務シフトを計画的に作成し、緊急時の職員配置も確実に行う	4.0	2.8	総務 総務企画	○ 利用者数43名	
		各施設の総合管理業務委託者と調整を密にし円滑な施設管理に努める	3.3				
		図書館カード利用による博物館入館者数は前年度を上回る	1.0	3.7	学芸 総務企画		
		市民ギャラリー自主事業へ貸し出す美術作品等の選定・管理を適切に行う	3.7				
	博物館の展覧会に合わせて関連図書の特集コーナー等を設ける	3.4	図書 郷土				
	③ 利用者や職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む	業務・事業の見直しを進め、時間外労働や多忙感の縮減に努める	2.5	3.2	事務局長		
		施設・設備の保全に努め、修理と更新を計画的に進める	3.0				
		職員の健康診断及び健康保持に関する業務を適正に推進する	4.0				
		火災や地震を想定した避難訓練を年2回実施する	4.0	3.8	総務		
		マイナンバー等個人情報の保護に細心の注意をもつて当たる	4.0				
		置賜の庭の環境整備及び行屋の維持管理に努める	3.5	4.0	図書 郷土資料		
火災や地震を想定した避難訓練を年2回実施する		4.0					
利用者の個人情報は関係法令と財団規程にもとづき厳密に扱う	4.0						
④ 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める	財団運営の目標及び方針を明示し、財団運営自己評価シートを作成する	3.0	3.0	事務局長			
	複数の評価に取り組み、事業やサービスの改善・向上に努める	3.0					
	新採研修や各種研修会を効果的に実施し職員の資質の向上をめぐす	3.0					
	伝国の杜運営協議会を年2回開催し、運営や事業の改善に努める	3.0					
	ナセBA運営協議会を年2回開催し、運営や事業の改善に努める	3.0	3.6	総務			
	普及ミーティングを毎月開催し、スタッフの資質向上をめぐす	4.0					
	接遇マニュアルの更新を進め、接客サービスの向上に努める	3.3					

網掛け は収益等事業